

みい農業協同組合 小松菜

福岡県 ワンヘルス認証



「コ」ツコツと「真」心いっぱい
「詰」め込んだ「ナ」イスな野菜
=小松菜を食卓へ



筑後川流域に位置する小郡市・久留米市。この地域を管内とするみい農業協同組合では、豊かな自然環境を活かして様々な野菜を生産。年間を通して栽培している小松菜は西日本最大の産地です。

2015年にJGAP(農薬・肥料の管理など持続可能な農業生産を確保する基準)の認証を取得。防虫ネットをハウスに設置することで農薬の使用を減らしたり、有機物を原料にした有機堆肥を使うなど、ワンヘルスの理念に沿った取り組みを行っています。また、生産工程の中で、「食品安全」「環境保全」などに関する検査項目を定め、日常的に確認、改善活動を行う「GAP」に取り組むことで、安全・安心な農産物を消費者に届けることに努めています。

「一年中、食卓にJAみいの野菜がある産地づくりを念頭に置いています。小松菜はその中でも主力野菜。年間を通して安定した供給を目指しています」と担当者。生でも食べられる新鮮な葉、シャキシャキ食感の茎はどんな料理にも合います。厚揚げと共に浸しにしたり、ベーコンと炒めて玉子でとじたり。万能な野菜だからこそ、レシピは様々です。ビタミン類の栄養素が豊富な小松菜で、食卓に彩りを加えてみてはいかがでしょうか。

販売場所

通販サイトYASITE(やさいと)、直売所めぐみの里、福岡県内のゆめタウン・マルキョウ他



→
通販サイト



ワンヘルスの実践内容

- 防虫ネット設置による農薬使用回数の低減(生態系の保全)
- JGAP認証取得による生産工程管理の実施(安全・安心な食の提供)